

編集部へ寄贈していただいた書籍

(2018年1月～12月)

- 赤羽淳・土屋勉男・井上隆一郎著『アジアローカル企業のイノベーション能力——日本・タイ・中国ローカル2次サプライヤーの比較分析——』同友館 2018, v + 215pp.
- 安里和晃編『国際移動と親密圏——ケア・結婚・セックス——』京都大学学術出版会 2018, vi + 312pp.
- 天児慧著『中国政治の社会態制』岩波書店 2018, xiv + 293 pp.
- 五十嵐誠一著『東アジアの新しい地域主義と市民社会——ヘゲモニーと規範の批判的地域主義アプローチ——』勁草書房 2018, xiv + 407pp.
- 池田昭光著『流れをよそおう——レバノンにおける相互行為の人類学——』春風社 2018, 260 pp.
- 石戸光編著『グローバル関係学ブックレット 政治経済的地域統合——アジア太平洋・中東・ヨーロッパの動向から——』三恵社 2018, 120pp.
- 岩崎葉子著『サルゴフリー店は誰のものか——イランの商慣行と法の近代化——』平凡社 2018, 270 pp.
- 上田貴子著『奉天の近代——移民社会における商会・企業・善堂——』京都大学学術出版会 2018, vi + 367pp.
- 小倉充夫・船田クラーク著『解放と暴力——植民地支配とアフリカの現在——』東京大学出版会 2018, xviii + 365pp.
- 柿崎一郎著『タイ鉄道と日本軍——鉄道の戦時動員の实像 1941～1945年——』京都大学学術出版会 2018, ix + 595pp.
- 加島潤著『社会主義体制下の上海経済——計画経済と公有化のインパクト——』東京大学出版会 2018, iii + 257pp.
- 金子文夫・宣在源編著『韓国経済発展の始動』日本経済評論社 2018, vi + 332pp.
- 金子由芳著『ミャンマーの法と開発——変動する社会経済と法整備の課題——』晃洋書房 2018, iv + 221 pp.
- 加茂具樹・林載桓編著『現代中国の政治制度——時間の政治と共産党支配——』慶應義塾大学出版会 2018, iii + 213pp.
- 岸本千佳司著『台湾半導体企業の競争戦略——戦略の進化と能力構築——』日本評論社 2017, vii + 326pp.
- 金富子・金榮著『植民地遊郭——日本の軍隊と朝鮮半島——』吉川弘文館 2018, xi + 225 + 13 pp.
- 栗田和明編『移動と移民——複数社会を結ぶ人びとの動態——』昭和堂 2018, x + 262 + vipp.
- 小泉順子編『歴史の生成——叙述と沈黙のヒストリオグラフィ——』京都大学学術出版会 2018, 5 + 334pp.
- 斎藤元秀著『ロシアの対日政策（上）——帝政ロシアからソ連崩壊まで——』慶應義塾大学出版会 2018, vii + 356pp.
- 斎藤元秀著『ロシアの対日政策（下）——新生ロシアからプーチンまで——』慶應義塾大学出版会 2018, vii + 342pp.
- 瀬川昌久編『越境者の人類学——家族誌・個人誌からのアプローチ——』古今書院 2018, viii + 156pp.
- 高倉浩樹編『寒冷アジアの文化生態史』古今書院 2018, viii + 120pp.
- 戸石七生著『むらと家を守った江戸時代の人びと——人口減少地域の養子制度と百姓株式——』農山漁村文化協会 2018, 271pp.
- 中村平著『植民暴力の記憶と日本人——台湾高地先住民と脱植民の運動——』大阪大学出版会 2018, iii + 246 pp.
- 西山美久著『ロシアの愛国主義——プーチンが進める国民統合——』法政大学出版局 2018, vii + 314 + 21 pp.
- 日本植民地研究会編『日本植民地研究の論点』岩波書店 2018, xv + 288pp.
- 朴敬珉著『朝鮮引揚げと日韓外交正常化交渉への道』慶應義塾大学出版会 2018, iv + 244pp.
- 橋本茉莉著『エ・クウォス——南スーダン・ヌエル社会における予言と受難の民族誌——』九州大学出版会 2018, v + 377 + 57pp.
- 服部健治・湯浅健司・日本経済研究センター編著『中国創造大国への道——ビジネス最前線に迫る——』文眞堂 2018, viii + 210pp.

- 馬場香織著『ラテンアメリカの年金政治——制度変容の
多国間比較研究——』晃洋書房 2018, v + 225 pp.
- 堀江未央著『娘たちのいない村——ヨメ不足の連鎖をめ
ぐる雲南ラフの民族誌——』京都大学学術出版会
2018, v + 348 pp.
- 馬駿・今村弘子・立花敏編著『東アジアにおける森林・
木材資源の持続的利用——経済学からのアプローチ
——』農林統計協会 2018, viii + 204pp.
- 油井美春著『現代インドにおける暴動予防の政策研究
——コミュニティ・ポリシング活動の挑戦——』昭和
堂 2018, x + 290pp.
- 鷺田祐一編著『インドネシアはポスト・チャイナとなる
のか——アジア巨大市場の10年後——』同文館出版
2018, v + 166pp.
- Margaret E. Peters, *Trading Barriers: Immigration and
the Remaking of Globalization*, Princeton University
Press, 2017, xv + 321 pp.
- Pedro Miguel Amakasu Raposo de Medeiros, David
Arase and Scarlett Cornelissen, eds. *Routledge
Handbook of Africa-Asia Relations*, Routledge, 2018,
xxi + 483 pp.
- Phillip Y. Lipsky, *Renegotiating the World Order:
Institutional Change in International Relations*,
Cambridge University Press, 2017, xv + 325 pp.

お詫びと訂正

本誌第59巻第4号に下記の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

記

箇所：56 ページ本文1行目

(誤) sprosperity

(正) prosperity